

かえる倶楽部タイムズ

特集

「顔面痙攣の診断と治療について」

●顔面痙攣は顔面半側の不随意運動で、顔面神経の起始部(Root exit zone: REZ)を正常血管が圧迫することが原因です(図1)。まれに脳腫瘍や脳動脈瘤による圧迫のこともあるので、**適切な診断のためには脳MRI/Aが必須**です。

●治療法として手術とボツリヌス療法がありますが、まずは経過観察することがほとんどです。病気自体は放置しても差し支えないために、**患者様がどのくらい困っておられるかで治療方針が大きく異なります**。つまり、症状が強くても経過観察することはよくあります。当科では十分なインフォームドコンセントのうえで治療方針を決定しており、手術を無理に勧めるようなことはしていません。

●手術では、REZから圧迫血管を移動させます(微小血管減圧術:図2)。手術は根本治療で、長期的にも9割以上で症状が改善しています。ただし、全身麻酔下での脳深部の手術になるので、まれに危篤な合併症が出現することがあります。

●ボツリヌス毒素の注射に大きな副作用はあまりありませんが、中長期的に顔面筋が萎縮することがあります。かなり症状が緩和されることがありますが、効果は3~4カ月程度で繰り返し行う必要があります。当院ではボツリヌス療法は行っておらず、ご希望の際には施行可能な提携病院へご紹介しております。

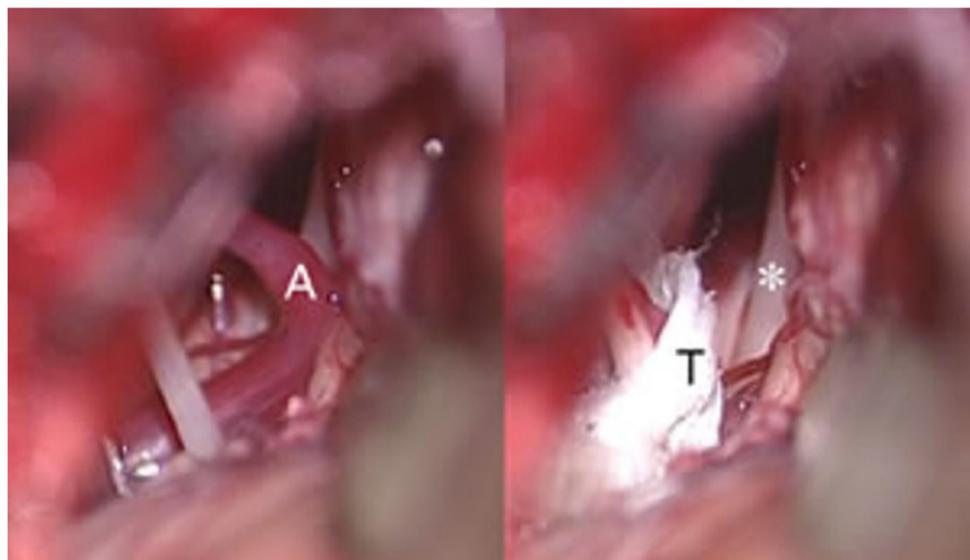


図1
(A:圧迫血管)

図2
圧迫血管をテープ(T)で移動
(*: 圧迫解除されたREZ)

●先生方の診療におかれまして顔面痙攣が疑われる患者様に対しては、**地域連携室へご用命いただければ脳神経外科外来担当医が対応させていただきます**。

関西電力病院
 脳神経外科
 部長 中島 英樹



日本脳神経外科学会 専門医・指導医
 日本脳卒中学会 専門医・指導医
 日本脳卒中の外科学会 技術指導医
 日本脳神経外科学会近畿支部 学術評議員

【連絡先】 平日 8:30~17:00、土曜日 8:30~12:00 地域医療連携室 (電話)06-7501-1406
上記以外の時間帯は、代表電話 06-6458-5821 へご連絡下さい。

お知らせ

「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

Facebook  Facebook 
<https://www.facebook.com/kanden.hospital/>

Twitter  Twitter 
https://twitter.com/kanden_hsp